

令和5年2月18日

世田谷区立桜丘小学校

校長 平松 有理子様

令和4年度 学校関係者評価委員会

## 学校関係者評価アンケート結果の分析・改善に向けての提言

〈学校関係者評価委員会〉 ◎委員長

◎稻田 正克：地域、元目黒区立小学校校長 ○菱刈 晃夫：学識経験者、国士館大学教授

○二川 早苗：元保護者、地域、日本家庭教育学会副理事長、元世田谷区立小学校 PTA 連合協議会

○松原 信行：元保護者、元 PTA 会長、元同窓会長 ○吉良 雅彦：元保護者、元 PTA 会長

○毛受 直子：新 BOP 事務局長 ○大賀 幸子：保護者

〈アンケート実施日・実施方法・回収率〉

① 児童 令和4年11月22日 学級にてタブレットで回答（全児童）

② 保護者 令和4年11月17日～27日

各家庭で2次元コードを通じて回答 回収率70%

③ 地域 令和4年11月1日～18日 各ご家庭へ郵送し、郵送で回収

回収後学校で2次元コードを通じて入力 回収率62%

本委員会は学校関係者評価アンケート結果に基づき、以下の点で桜丘小学校へ提言します。

1 よく考える子「ものごとをよく考え、向上しようとする子ども」に関連した項目

【学習指導(全項目)】

・学習指導に関しては、児童アンケートの評価は全体的に高い。

保護者アンケートの評価に関しては、今後学校の教育活動（モニターやタブレットの使い方）が、更に目に見えるように工夫して、教育活動の充実を図ってほしい。また、保護者も一層、関心をもって回答に応じていただきたい。

・今後も映像やタブレットを使い、分かりやすい授業展開をしてほしい。

学習指導のプリント等の教材を学年ごとに共有し、活用の工夫をすることは、働き方改革につながる。

2 重点目標1：豊かな心をもった子「思いやりのあるやさしい子ども」「人権教育の推進」に関連した項目

【学校の独自項目（①②あいさつ、⑤友達を大切にしている、⑨私は花の子交流活動が楽しい】

・児童も保護者も挨拶に関する項目について、高評価が数年間続いている。

・学び舎の挨拶運動、桜丘小学校独自の挨拶運動、挨拶宣言、段階別に取り組んでいる挨拶名人の取り組みの成果である。今後も引き続き継続を望む。

・「友だちを大切にしている」について高評価でとても良い。それは、自分を大切にしていることにつながっている。

・「花の子交流活動」においては、全体的に楽しみにしている児童が多い。内容や方法を工夫しながら

ら更にどの学年も楽しめるように計画し、5年生にもリーダー的要素を感じさせるよう働きかけてほしい。

### 3 教育目標:健康な子「体を丈夫にし明るい心をもつ子ども」に関連した項目

#### 【(児童⑦)(保護者⑫) 学校の独自項目(外遊び)】

- ・「早寝早起き朝ご飯」の重要性については浸透しているので、今後も意識して取り組んでほしい。  
体力増進を考え、外遊びの大切さを指導してほしい。  
近視の児童が増加傾向にあるので、注意を促したい。

### 4 重点目標2:「自己肯定感・自己有用感の譲成⇒キャリア・未来デザイン教育の推進」に関連した項目

#### 【キャリア教育 学校独自項目「私は、自分のよいところがある」「自分のことが好きである】】

- ・令和3年度の質問項目は、「私は自分の良いところが分かり、自分のことが好きである」肯定的評価が66%であった。令和4年度は「私は、自分のよいところがある」は86%、「自分のことが好きである」は81%と質問項目を2つに分けたことによって、子どもたちが自分の良さを再認識する機会となった。具体的な取り組みとして、学校全体で取り組んだ「エールの木」、各学級で取り組んだ「自分や友だちの良いところ見つけ」等の教育活動が相乗効果を成している。子どもたちが気づいた良さを更に伸ばし、「未来デザイン」ができる子どもを育んでほしい。
- ・各学年で行っているキャリア教育について、保護者会等で趣旨や内容などの周知が課題である。  
キャリア教育の一環として、保護者や地域の方をゲストティーチャーとして招き、その方々の生き方、考え方を学ぶ機会を作ってほしい。

### 5 その他

- ・保護者アンケートの回収率は前年度より減っている。今年度よりWEB回答に変わっていることが要因として考えられる。来年度に向けての対策が必要である。
- ・保護者アンケート9-(2)「学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している。」が66%と他の項目に比べると高くない。学校行事や地域主催の行事などへ参加することは子どもたちの励みになる。また、子どもたちの活動意欲を増すことにも通じる。他方、協力する気持ちが下がっているのは気になるので、参加しやすい活動等工夫していくことを望む。
- ・学び舎の評価は年々高まってきている。昨年度、今年度の部活動体験や、授業体験など、幼、保、小、中の交流が増えた結果である。また、学び舎通信やホームページによる発信の効果があると思う。更に活動を工夫しながら、学び舎の良さが活きるようにしてほしい。

### 6 終わりに

- ・アフターコロナで教育活動や、学校行事において、何を無くし、何を取り戻せばよいか、ブラッシュアップした教育計画の再検討をしてほしい。これからの中間化社会に対応していく子どもたちを育てていかなければならない。デジタル化社会に対応する教育は、先生方の働き方改革にもつながるので、教育現場の工夫を望む。

最後になりましたが、平松有理子校長先生をはじめ、教職員のみなさまには日々子どもたちを思い、丁寧なご指導にご尽力いただきありがとうございます。その様子は、学校ホームページのこまめな発信からも伺えます。

学校、先生方も工夫しながら日々努力されています。引き続き応援していきたいと思います。